テーマ：自然（秋）

５歳児クラス　１６名

活動　（②自然と生き物と命）
振り返り、わたしたちにできることは？

動物園での振り返りを通して、命の尊さや大切さを知り、動物たちにために何ができるか考えてみる。

準備したもの
・絶滅危惧種について本やネットで調べておく。
・視覚教材→写真、配布物
（できることからはじめよう！）
・ホワイトボード
・模造紙
・絵の具
・台紙
（葉っぱの形に切ったもの）

〇活動内容

動物園の振り返り、動物の数が減少している原因や動物たちのためにできることは何かについて意見を出し合い、考える。

〇保育者の問いかけやアプローチ

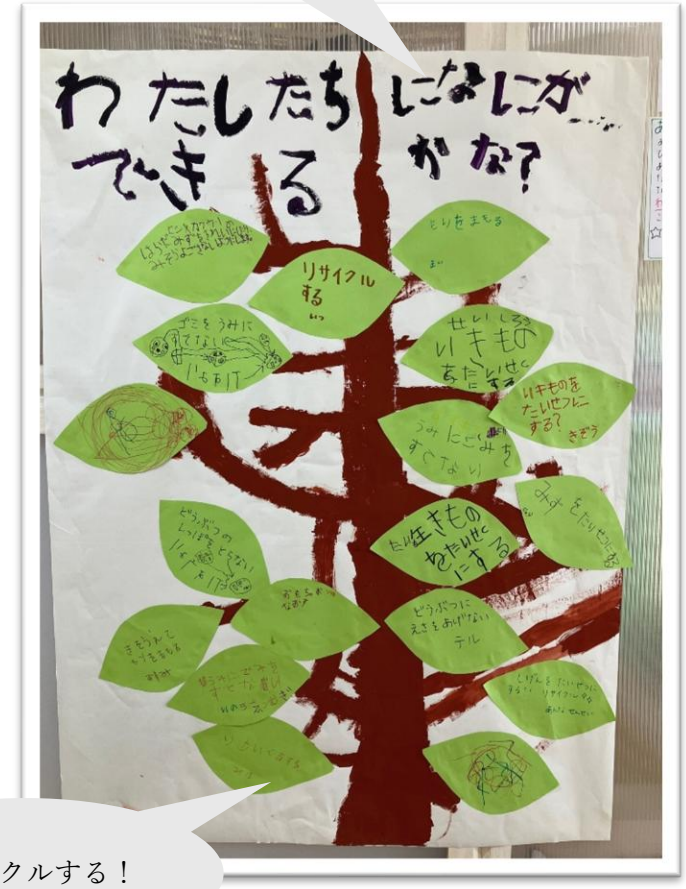
わたしたちになにができるかな？」では、保護者の方とも活動内容を共有できるように、出し合った意見や考えを多摩動物公園にもあった掲示物のように、葉っぱの形をした紙に書いて園内に掲示してみることを提案する。また、保護者の方にも書いてもらえるように、葉っぱの形に切った紙をペンを用意し、一緒に考えもらうことで活動を深めていけるようにする。

〇子どもの様子

振り返りでは、「カワウソが泳いでいるところ可愛かった」「インドサイの赤ちゃんも可愛かった」と動物へ愛着を感じている子もいれば、「（動物園内の掲示物に）インドサイとチンパンジーは絶滅危惧種になってて、数が減ってるって書いてあったよ」と絶滅危惧種に興味をもっている子もいた。インドサイの子どものように新しく生まれる命もあれば、絶滅危惧種に指定され、人の手によって失われてしまう命もあること、動物園で見た動物はすべて絶滅危惧種に指定されていることを子どもたちに伝えると心を痛めたり、驚いたりする姿が見られた。子どもたちに動物の数が減った原因について投げかけると「病気になっちゃったのかな？」「餌が少なくなってるんじゃない？」「地球温暖化で水が減って、コアラが水を飲めなくなってるってテレビでやってたよ」「罠にかかって捕まっちゃったのかな？」「木を切られて森が減って、動物のお家が減ってるんじゃない？」「水が汚くなっちゃったから？」など様々な意見が出てきた。そこから話が広がり、「森が減って動物の住むところが減ってるから、木を植えて森を増やすのはどうかな？」「川や海にごみがいっぱいだと間違えて食べちゃって、生き物が死んじゃうかもしれない」「川も海も森もきれいにしたほうがいいね」「ゴミを減らしたほうがいい」「ゴミは分別してリサイクルするといいんだよ」「紙はティッシュは木からできているからリサイクルが大事だよね」「ゴミはゴミ箱にちゃんと捨てよう」「壊れたものは直して使う」など動物を守るために自分たちにできることを考えてみる姿も見られた。後日、一部の子は家庭でも絶滅危惧種について図鑑で調べてくる姿も見られ、関心を広げている様子が見られた。

動物たちを守るために
何ができるかな？

水を大切にする！



リサイクルする！

振り返り

保護者も巻き込みながら活動を進めていくことで、より興味関心を深めることでできたように思う。絶滅危惧種に高い興味関心をもっている子がいるので、子どもたちの声や姿を拾っていきながら活動を深めていけるといいように思う。